

321 背に腹は代えられない

大きな事をするときには小さなことは犠牲にしても仕方がない。

322 世話を焼く

進んで他人の手助けをする。

323 俎上に載せる

ある物事や人物を議論、批評、考察の対象として取り上げる。

324 対岸の火事

他人にとっては重大な問題だが、自分には関係がないため何の苦痛もない。

325 太鼓判を捺す

人や物などの評価が確実であると保証する。

326 大なり小なり

程度の差はあっても。多かれ少なかれ。

327 たがが緩む

緊張が緩み、まどまりややる気がなくなる。

328 高嶺(根)の花

ただ見ているだけで、手に入れることができずあこがれるだけの存在。

329 高飛車に出る

相手を威圧し一方的に押し付けるような態度を取る。

330 高みの見物

第三者の立場で遠くから安全に眺める。

331 宝の持ち腐れ

役に立つ能力や物を持っていながら使わずにいる。

332 高を括る

大した程度ではないと予測し見くびる。

333 竹を割ったよう

気性がまっすぐで、さっぱりとした性格。

334 叩けばほこりが出る

どんなものでも細かく調べると、欠点や弱点が見つかる。

335 太刀打ちできない

相手の実力に遠く及ばず、戦っても相手にならない。

336 立つ瀬がない

立場を失い、面目が立たない。

337 手綱を締める

勝手なことをしないように、他人の行動などを制限する。

338 立て板に水

すらすらとよどみなく話す様子。

339 盾(楯)にとる

ある物事を材料に、言い訳をしたり言いがかりをつける。

340 縦の物を横にもしない

面倒臭がつて、ほんのちよつとしたこともしない。